

公民館スタッフとして参画「中高生の地域活動」

第63回全国社会教育研究大会石川大会～今こそ攻めの社会教育を!いよっ社会教育委員!～

発表者 郡上市 社会教育委員 辻治美さん、鷲見光義さん、原加代子さん、杉山賢さん、伊藤正夫さん

10月28日、石川県で開催された全国社会教育研究大会で、郡上市における青少年育成活動が発表されましたので紹介します。コロナ禍での大会ということで、発表の様子は、動画で配信されました。



(1) 郡上市青少年育成市民会議の活動～『郡上教育フォーラム』～

テーマ：「郡上で育む子どもたちの夢と未来」

- ・ 青少年育成に関する講演
- ・ 青少年の作文や地域で取り組む活動発表



(2) 公民館活動による青少年育成活動

中学生理事による公民館活動－相生公民館－

目的：若い世代に社会性を身につけさせるとともに、ボランティア精神の構築につなげる

中学生理事として参加していた生徒が、大人になって地域に戻り、今度は公民館主事として、活躍するといった姿もある。参加した子どもたちからは「準備などが大変だったけど、参加した人の喜ぶ姿を見て、自分たちもうれしくなった」「ボランティア活動は誰かのためにしてあげるのではなく、自分たちも楽しめることだと思った」などの声が挙がり、地域づくりへの意識の醸成につながっている。

小学生が憧れる
中学生の生き生き
と取り組む姿



相生マルシェでの活動

中高生公民館応援隊による夏 FESTA の開催－白鳥地域公民館－

重点目標：世代を超えた交流を実現し、つながりを深める

～若者の思いを活かし、若い力を結集する工夫～

地域の一員として活動する公民館応援隊への参加の増加は、地域の活性化にもつながり、大きな成果の一端となっている。また、地域住民は中高生の頑張っている姿に 直接触れる機会が増えることで、世代を超えた交流が深まっており、白鳥地域公民館の重点目標にもつながっている。

この取組については、平成29年10月に「社会教育だより つなぐ」でも紹介しています。詳しくはこちらをどうぞご覧ください。 →



高校生と公民館が語る会
「園児から小学生を集めた夏祭りをしよう！」



ふるさとに誇りと愛着を ～地域と学校のかかわり～

PTA 伝統行事「親子おどり」で地域・学校・保護者をつなぐ

《郡上市立八幡小学校》

伝統である郡上踊りを子どもたちにも伝えたいという願いのもと、八幡小学校 PTA で昭和61年度から毎年行われている「親子おどりの夕べ」。昨年度から、リモートによる「おうちで親子おどり」の実施をされています。今年度は、リモートでも多くの人に参加できるようにと、事前アンケートをとることで、新たな取り組みも行われました。

【浴衣着付け教室】

浴衣を自分で着られるように、
子どもに着せられるようになることで、踊りへの参加意欲を高めてもらおうと、地域の方の協力を受け、着付け教室が開催されました。

帰ったら娘に着せてみます！



コロナのために着る機会がなくなっていたので、今回浴衣が着られてうれしかったです。

【写真展示と郡上サイダー券】

リモートで参加した様子の家族写真を提出してもらい、大きな踊りの輪の掲示物にされました。また、地域の方のご協力で写真を提供いただいた家族には「郡上サイダー券」が配付されたということです。

*この活動は、10月に開催された第77回日本PTA東海北陸ブロック研究大会・清流の国ぎふ大会において発表されました。2月20日（日）まで動画配信されています。



ユネスコ無形文化遺産「本美濃紙」の伝統を引き継ぐ思いに触れる

《美濃市立牧谷小学校》

オリンピックの表彰状にもなった美濃手すき和紙。牧谷小学校には和紙漉き教室があり、6年間を通して、美濃手漉き和紙協同組合の協力のもと、「紙漉き」はもちろん、「楮（コウゾ）の刈り取りやちりとり」、そして「職人さんの思いに触れる活動」など様々な学習が行われています。12月には卒業を控えた6年生が、本美濃紙を漉かされている伝統工芸士の方から、『1300年続く美濃和紙の伝統を継ぐ思い』に触れる学習が行われました。

伝統を守ることは確かに難しい。でも、自分の漉いた紙が様々な文化財を守ることや補修することにつながっていることはとてもうれしいこと。
一枚一枚感謝しながら心を込めて漉いています。



職人さんの後継者への思いがよく分かった。
観光客や若者に美濃和紙のよさを自信をもって伝えたい！！

伝統工芸士さんの話の後には、「コウゾのちりとり」作業（美濃手すき和紙の製造過程の一つ）を下級生に伝えるための勉強会が行われ、和紙の原料となる「コウゾ」についての「ちり」と呼ばれる不純物を冷たい水の中でうまく取り除くコツを学びました。毎年、6年生がこの方法をマスターし下級生に伝え、1月には6年生のために全校児童でこの「ちりとり」が実施されています。その後、下級生が「ちり」を取り除いてくれた「コウゾ」などの原料を使って、6年生一人一人がそれぞれの思いを込めて卒業証書を漉き上げる予定です。

